

オープンイノベーションで開く 新たな分野への扉

～ 製造業で培ったIoT/AI技術のソーシャル分野への適用 ～

株式会社 YE DIGITAL
マーケティング本部

AGENDA

- 会社紹介
- IoT/AIソリューションと事例
- ソーシャル分野への展開
- オープンイノベーションへの取組



YASKAWA

安川情報システム株式会社



YEDIGITAL

デジタル技術を利用した優れた製品・
サービスを世に送り出し、
社会貢献をしたいという思いを込め、
社名を変更いたしました。

IoTソリューション

クラウドサービスから通信機器まで、IoTでお客様の業務効率化を支援。AIを活用したデータ分析技術で、お客様に新たな価値を創造します。

- ソーシャルIoT
- AI・ビッグデータ分析

ビジネスソリューション

ERPを中心とした業務システム導入の豊富な実績を生かし、ICTによる新たな価値創造で、お客様の経営強化を支援します。

- ERPグローバル展開支援（SAP他）
- 顧客業務システム
- 健康保険システムの構築
- システムコンサルティング

サービスビジネス

ITカスタマサービスセンター「Smart Service AQUA」を中心に、ユニファイド（統合化された）サービスを提供し、お客様の業務システムの運用方法や活用方法をきめ細やかに支援します。

- 運用支援
- アフターコンサル



IoT分野の歩み

長年に渡り、お客様へ良品質な製品・サービスを提供しております。

※Microsoft AzureおよびMicrosoft Azure Certified ロゴは、Microsoft Corp.の商標または登録商標です。

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020~

アプリ・サービス事例

●パナソニックシステム導入(2003年)

●車載機M2Mシステム導入

●雨量観測システム導入

- SS向けシステム導入
- 蓄電池システム導入

- 補虫システム導入
- EV充電システム評価導入

●アミューズメント用グローバルM2M

- 電池船システム試行
- 工作機遠隔監視システム導入

- パナソニックシステム移行
- MMConnect

IoTプラットフォーム
MMCloud
IoT/M2M
クラウドサービス

MMGuide Water
MMPredict
AIによるデータ分析



- Befor/Afterサービスの充実
- コンサルティングサービス
 - IoTデザインセンター

MMEye
AI画像判定サービス

MMsmart
BusStop
スマートバス停クラウド

MMLogiFrame
倉庫自動化ソリューション

MMEyeBox
オンプレミス版MMEye

- ・案件個別対応(委託開発主体)
- ・個別技術習得と蓄積

- ・標準製品化
- ・高付加価値化

- ・他社製品連携
- ・AI・ビッグデータ活用

- ・無線ルータ自社開発
- ・国内、海外認証取得

- ・製品ラインナップ拡充
- ・付加価値機能拡充

- ・上位クラウド親和性
- ・センサ接続性向上

通信機器



D2-K's
販売開始

特殊携帯
開発

蓄電池
向け開発

EV充電器
向け開発

※カスタム製品対応可能

海外専用
2G(GSM)対応

MMLink-G

国内海外利用可
3G/2G対応

MMLink-3G

MMLink-Lite
LTE/3G

国内専用
3G対応

MMLink-GW

MMLink-GWL

LPWA対応
アナログコンバータ

MMLink-LTM

MMLink-IR611/615



KDDI回線専用
CDMA 1X



国内海外利用
LTE/3G対応



国内専用
LTE/3G対応



Wi-Fi付きLTEルータ

国内外への導入実績
累計 15万台以上

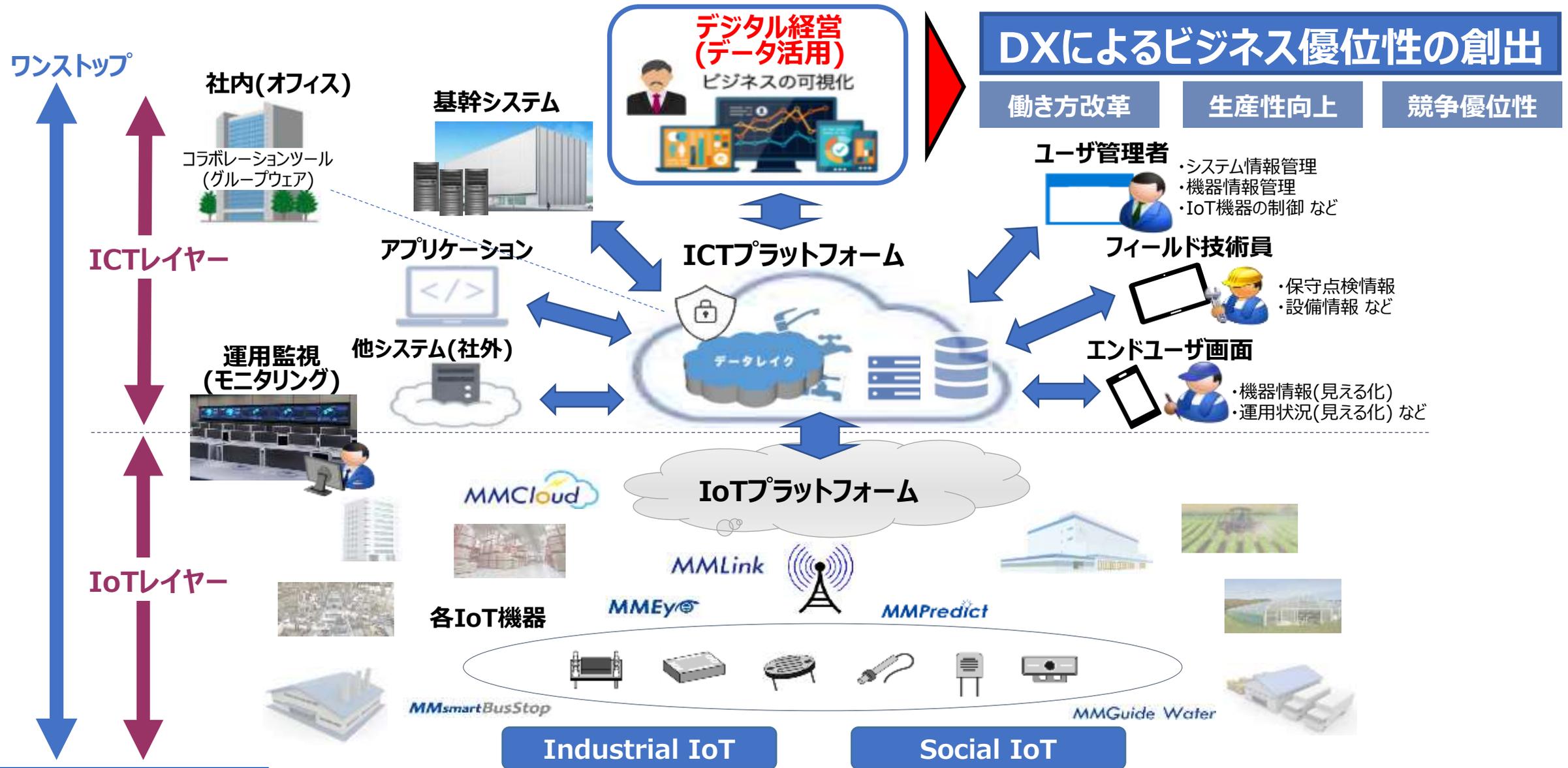
2020年時点

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020~

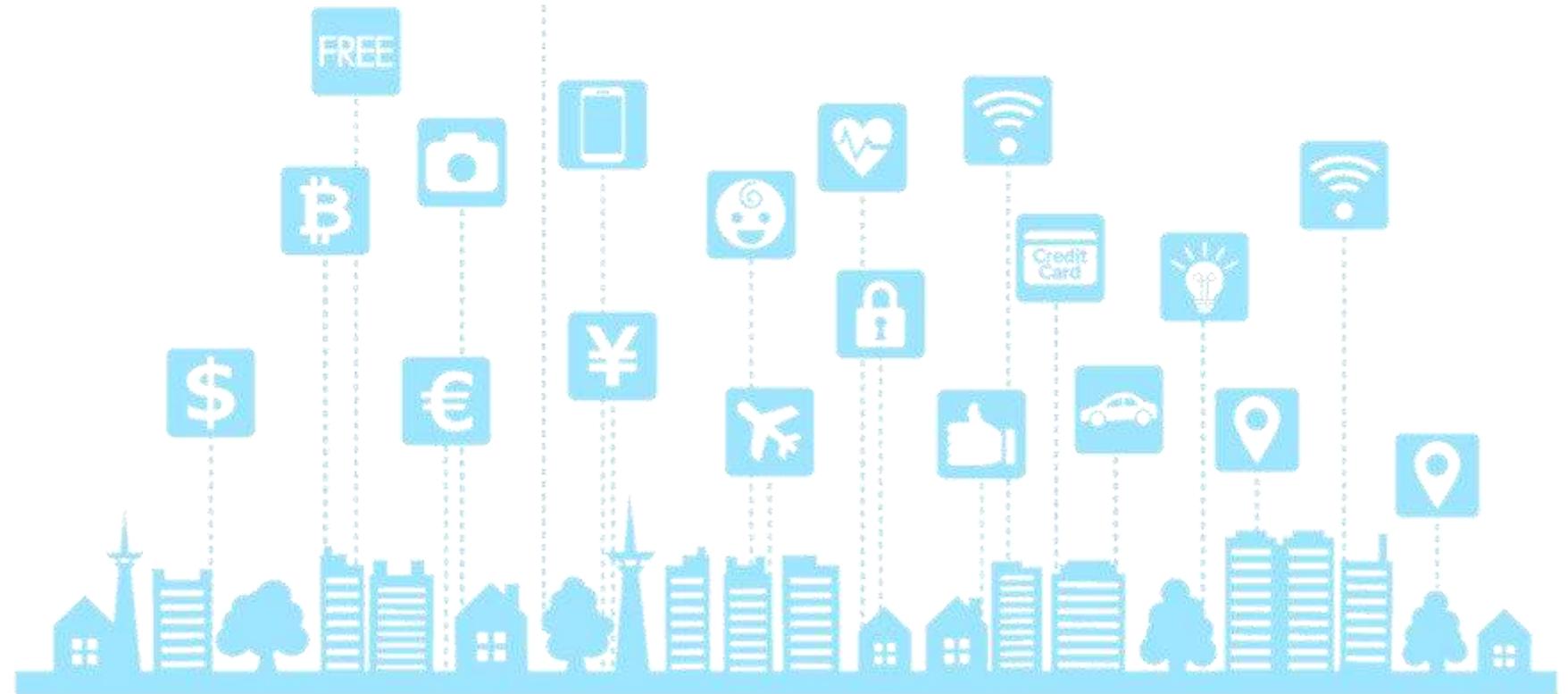
M2Mの“つなぐ”から“可視化”を経て、AIにより“自動化/最適化”を目指す



ビジネスソリューション × IoTソリューション



データ収集・見える化を実現する IoTソリューション



トータルソリューションのご提案

お客様のIoTパートナーとして、
経営強化・競争力強化に向けたスマート化実現をワンストップで支援します。



監視／制御対象機器	データ収集機器	通信機器	回線サービス	クラウド／アプリ
<p>スマートフォン 監視カメラ ウェアラブルデバイス 産業機器 建機 車両 施設 家電</p>	<p>コントローラ プログラマブル表示機 データロガー</p>	<p>MMLink-GWL</p> <p>MMLink-Lite LTE</p>	<p>回線サービス</p>	<p>IoTプラットフォーム</p>

製品・サービス	センサ	コントローラ	MMLink-IR611	M2M-基盤	クラウドサービス	MMCloud
	RFID	プログラマブル表示機	MMLink-IR615	国内携帯回線サービス	ハウジングサービス	アプリケーション開発
	WiFi	データロガー	MMLink-Lite LTM	海外携帯回線サービス	ネットワークサービス	業務システム連携
	ZigBee		MMLink-GWL			
	組込・ソフト開発		MMLink-Lite LTE			
		M2M-GW				

 弊社製品・サービス
 パートナ製品

Modbusをはじめとした各種フィールドバスにも対応

国内はもとより海外にも対応した通信機器と回線を提供

装置のライフサイクルマネジメントに適したクラウドサービス

一歩進んだデータ活用

AI技術(機械学習)を活用したデータ分析

予測・最適化など

新しい価値

保守サービス
(24h365D) 3ヶ国語



IoT、AIの活用による最適化・見える化によりコスト削減・売上拡大

つなぐ

非ネットワーク対応FA機器の通信に最適！
マルチキャリア対応LTEゲートウェイ

MMLink-GWL



Microsoft社より
Azure Certified for IoT
の認証を取得

LTE/3G対応

マルチ
キャリア

VPN対応

ユーザアプリ
アドオン可能

可視化

IoTプラットフォーム

MMCloud

東空販売様 導入事例

建設機械アタッチメントの稼働状況可視化



社内で独自に衝撃センサ
による稼働監視検証を試
みたが、耐久性の問題が
クリアできず、開発を断
念していた。

IoT油圧ブレーカシステム『TO-MS』

- 稼働時間・稼働場所の表示 ブレーカの故障予兆分析
- ・稼働時間表示機能
 - ・所在地表示機能
 - ・機器情報表示機能
 - ・AIによる機械学習
 - ・機器ダメージ判定



フィールドバスモードで産業機器との相性抜群！

Fieldbus対応の機器を カスタマイズ不要でクラウドに接続可能

MMLinkのFieldbus通信機能

- ◆定周期ポーリング機能
毎回問い合わせなくても 指定データを一括通知
- ◆データ変化イベント通知機能
毎回問い合わせなくても データの変化を漏れなく通知

ポーリングデータ

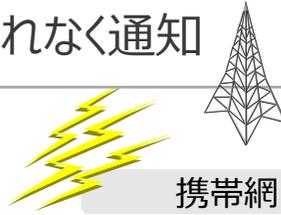
【通知周期】
XX分

【ポーリングレジスタ】
アドレス0001
アドレス0002
.
アドレスxxxx

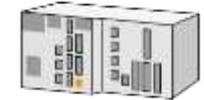
イベント通知条件

【イベント条件1】
アドレス0001の値が
XXXを超過したら
通知

【イベント条件2】
アドレス0002のBIT
が
OFF⇒ONになったら
通知



MMLink連携プロトコル



Fieldbus対応機器

アドレス	値
0001	1234
0002	2000
0003	7FFF
0004	8000

設備の稼働監視や移動体の監視に必要な機能を標準搭載

機器稼働状態監視



所在地確認



ルート確認



機器稼働時間一覧



トレンド表示 (一覧)



トレンド表示 (グラフ)



アラーム履歴



点検保守記録



機器ポータル



稼働状況分析



ドキュメント管理



ファームアップデート



稼働状況などがレイアウトに合わせて視覚的に確認できる

The screenshot shows the MMCloud interface for monitoring a factory layout. The main area displays a 3D perspective view of a factory floor with various pieces of equipment. Labels include: 操作パネルA (Control Panel A), 半導体製造ロボットA (Semiconductor Manufacturing Robot A), 半導体製造ロボットB (Semiconductor Manufacturing Robot B), and プレス機A 105.67°C (Press Machine A 105.67°C). A navigation sidebar on the left allows switching between different layout views (ALL, 1F, 2F). The interface also shows a breadcrumb path (本社 > 第1工場 > 1階) and a refresh button.

レイアウト情報画面

選択したレイアウトが表示されます。レイアウト内の項目（状態、アラーム、データ、など）は自動更新されリアルタイムに情報を確認できます。

表示レイアウト選択

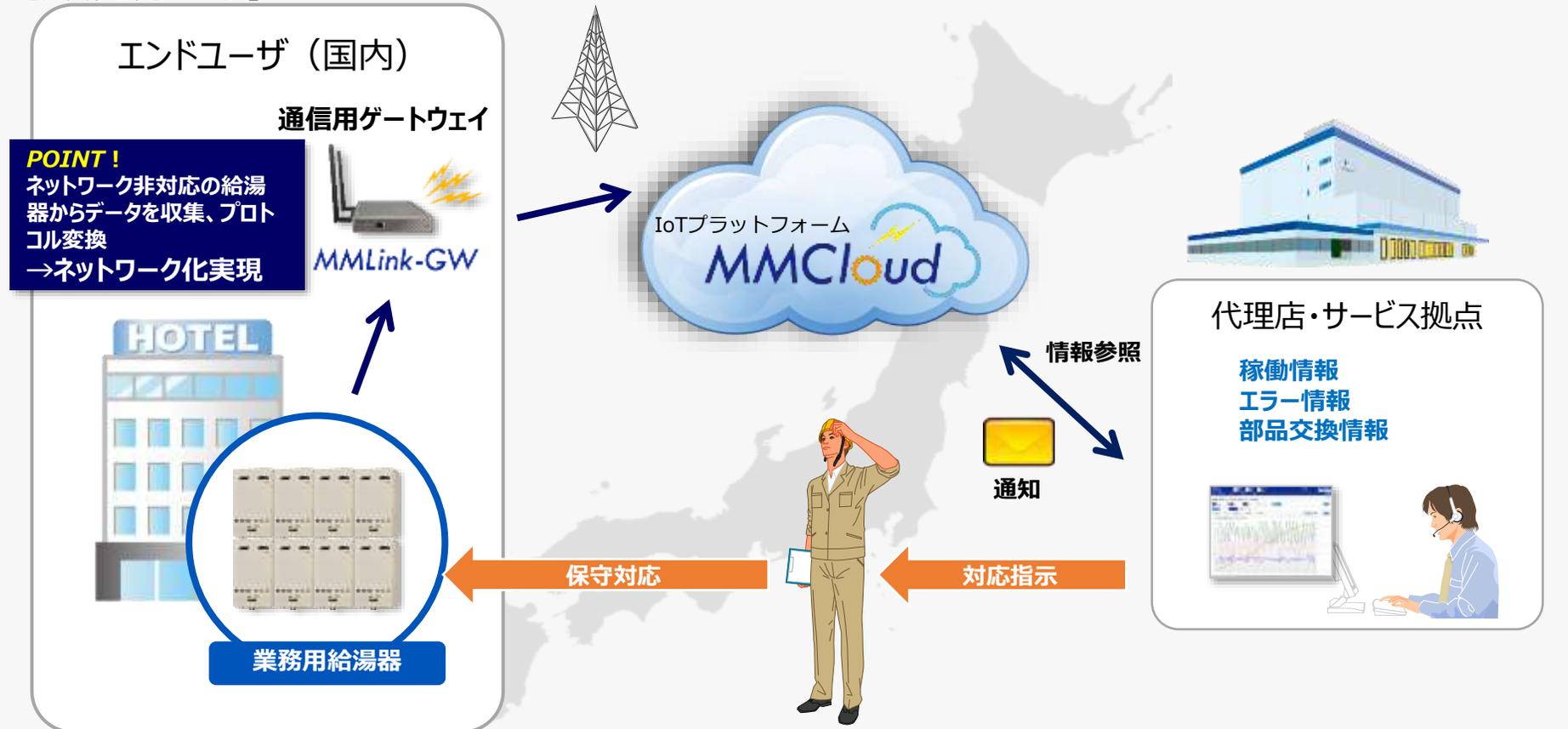
設定された複数のレイアウトをボタンクリックにより切り替えて確認できます。

工場見取り図

システム概要

- ・病院や高齢者向け施設、ホテル、工場で利用される業務用給湯器の遠隔稼働監視。
- ・異常発生時のプッシュ型通知および部品交換情報の把握などにより保守業務を迅速化／効率化。

【システムイメージ】



■導入メリット

保守コスト削減

業務効率化

ダウンタイムの削減

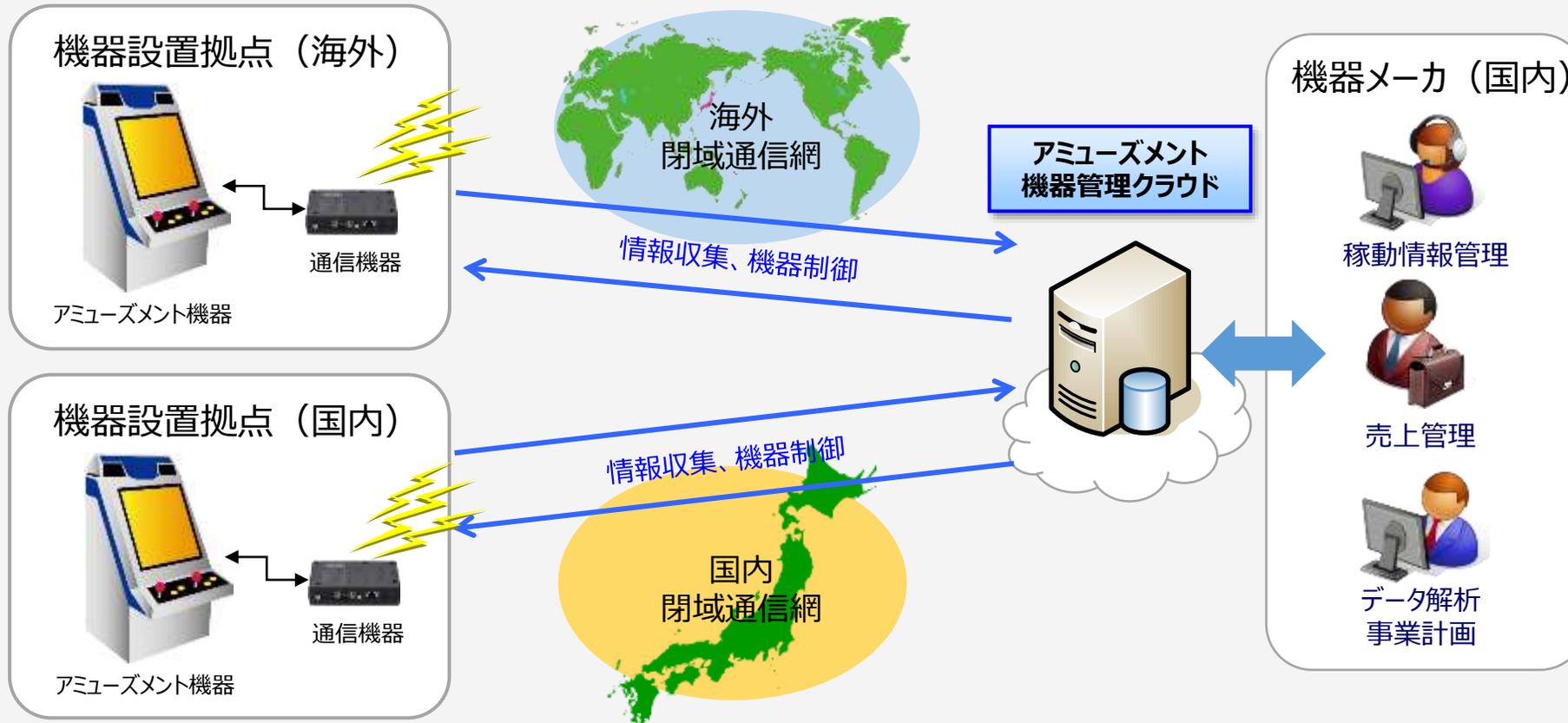
他社差別化

メーカーによる保守サービスの強化

システム概要

- ・国内外設置機器の稼働状況データを収集。
⇒ 売れ筋商品、高収益地区等の見える化を実現し、海外戦略の立案、意思決定のツールとして活用
- ・機器の状態を遠隔監視することにより、保守／調達管理業務の効率化を実現。

【システムイメージ】



■導入メリット

メンテナンス
の効率化

稼働率向上

市場ニーズ分析

他社差別化

データ活用による
マーケティング・
ビジネス戦略立案

AIの活用！

エンジニアリング系に特化

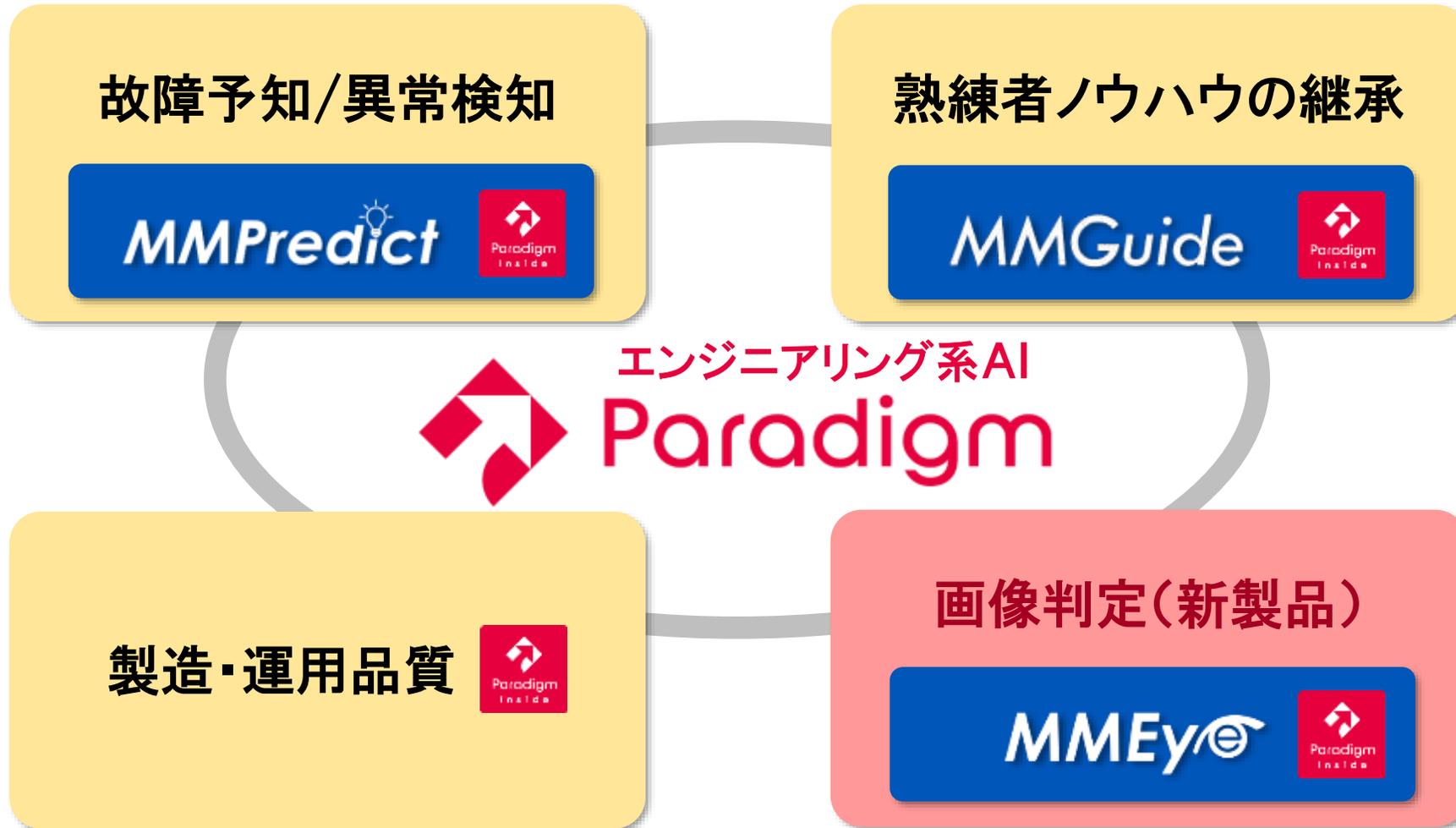
日々進化するAI技術に対応

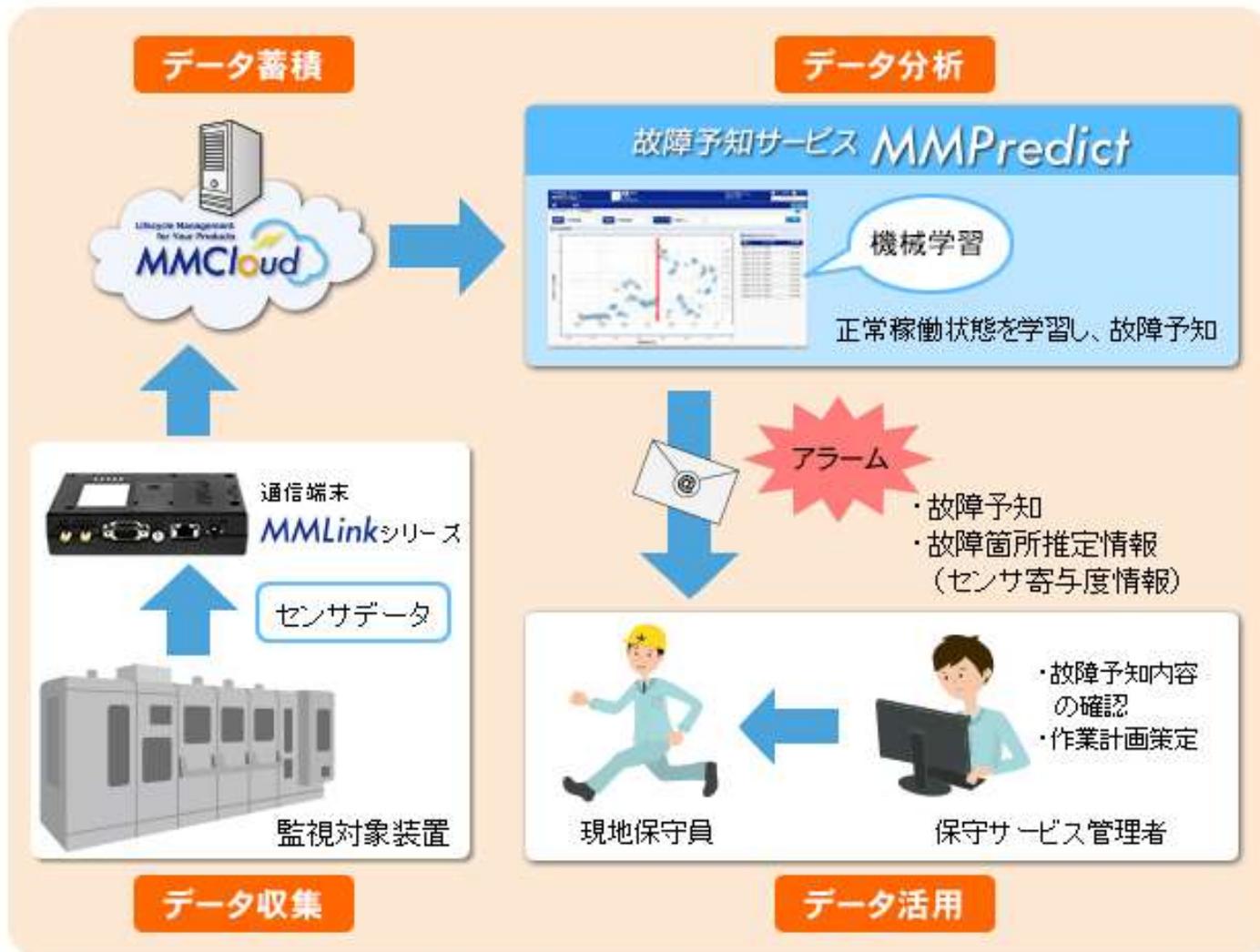
使うほどに賢く！

製造現場の
課題解決に
つなげるには？

YE DIGITALのAIプラットフォーム

当社は産業設備、装置等のエンジニアリング系データを対象としたAI「Paradigm」の開発を手がけ、これまでにAI関連で10件以上の特許を出願。主に下記4つのソリューションに注力しています。





工場のダウンタイムゼロへ

AI・機械学習の活用により
**装置の停止前に
故障の予兆を検知**

特徴 1

正常稼働時のセンサデータの相関を機械学習
現在のセンサデータとの乖離度から故障予知

特徴 2

正常稼働時と異なる挙動をしたセンサの順位
(寄与順位)から装置の故障箇所を推定

JPN
Tokyo
2017/09/29

安川情報システム
安川 情報

ユーザ設定 ヘルプ

ログアウト

設定 運用

close

予知状況一覧 >> 予知結果表示

表示期間 << 2017-07-01 00:00 - 2017-07-07 23:59 >>

プラント名 機器110000 モデル名 モータ予測モデル(Demo) グラフ形状 線形 片対数

表示

CSV

対象日時

手動判定

追加学習

データ表示 モデル情報

寄与順位

日時 < 2017-07-01 00:00 >

表示	順位	センサ名称	寄与度
<input type="checkbox"/>	1	モータトルク	9.28
<input type="checkbox"/>	2	A Eセンサ	9.20
<input type="checkbox"/>	3	モータ温度	9.13
<input type="checkbox"/>	4	モータ電圧	9.00
<input type="checkbox"/>	5	振動センサZ	8.97
<input type="checkbox"/>	6	モータ速度実績	8.79
<input type="checkbox"/>	7	モータ速度指令	8.65

(乖離度 0.0106)

通知条件

閾値 * (初期閾値) (1.0000)

保存

MMPredict powered by YASKAWA INFORMATION SYSTEMS CORPORATION Version: 1.00.00

産業用冷凍庫等製造販売
株式会社前川製作所様



業務用冷凍庫の装置振動やモータトルク等のデータの相関関係をAIで機械学習。国内外に設置された装置の故障予知により“予防保全”を実現

導入効果

- 必要な部品のみ交換することで、保守コスト削減
- 故障予兆をいち早く捉えることで、製造計画に合わせた保守を実行。システムダウンによる製造口ス発生を抑制
- リモートメンテナンス機能で、保守作業迅速化/効率化
- 異常に起因する箇所を推定でき、効果的に対策を打つことができる

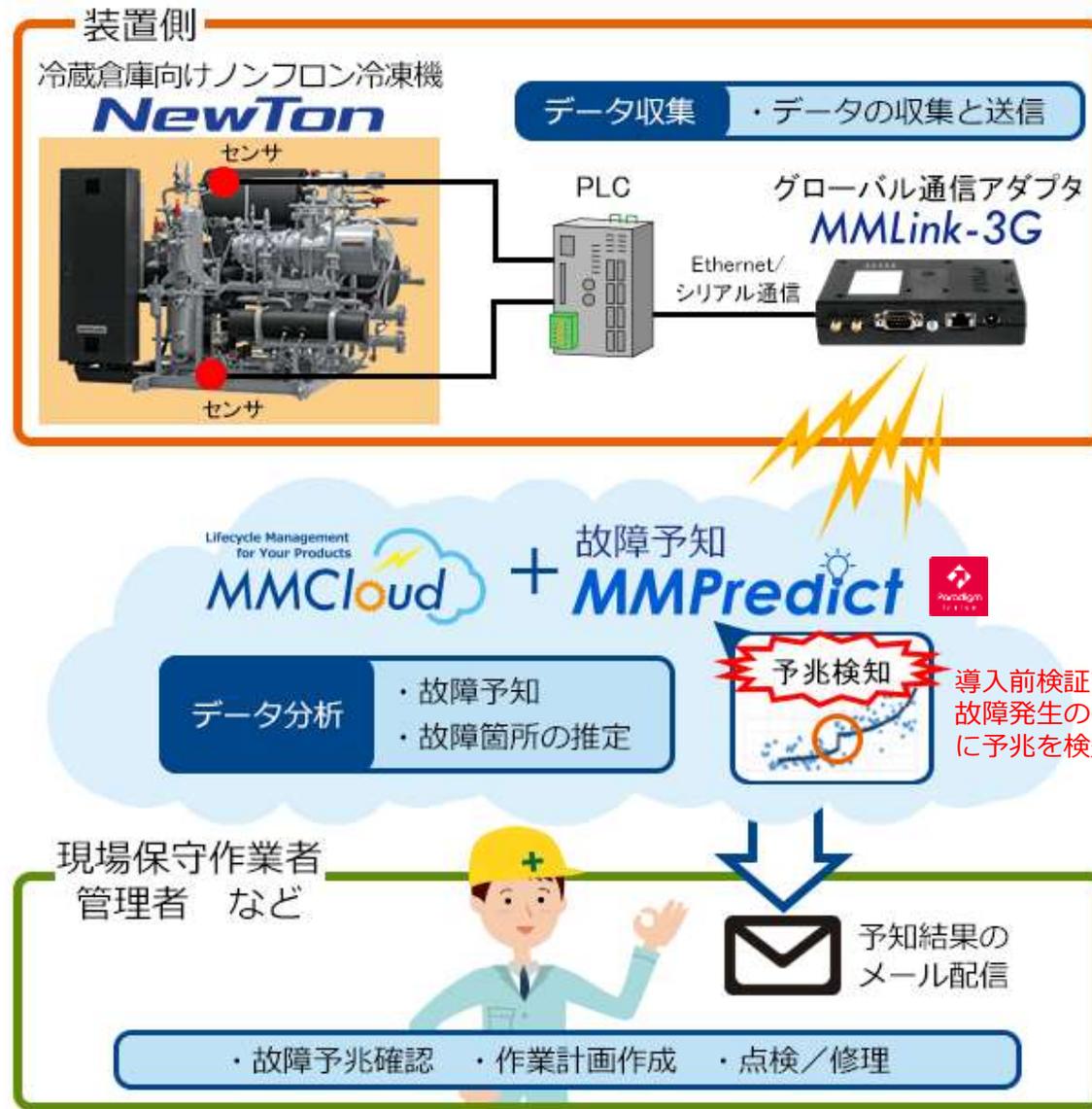
■ 導入メリット

保守コスト
削減

稼働率
向上

保守業務
効率化

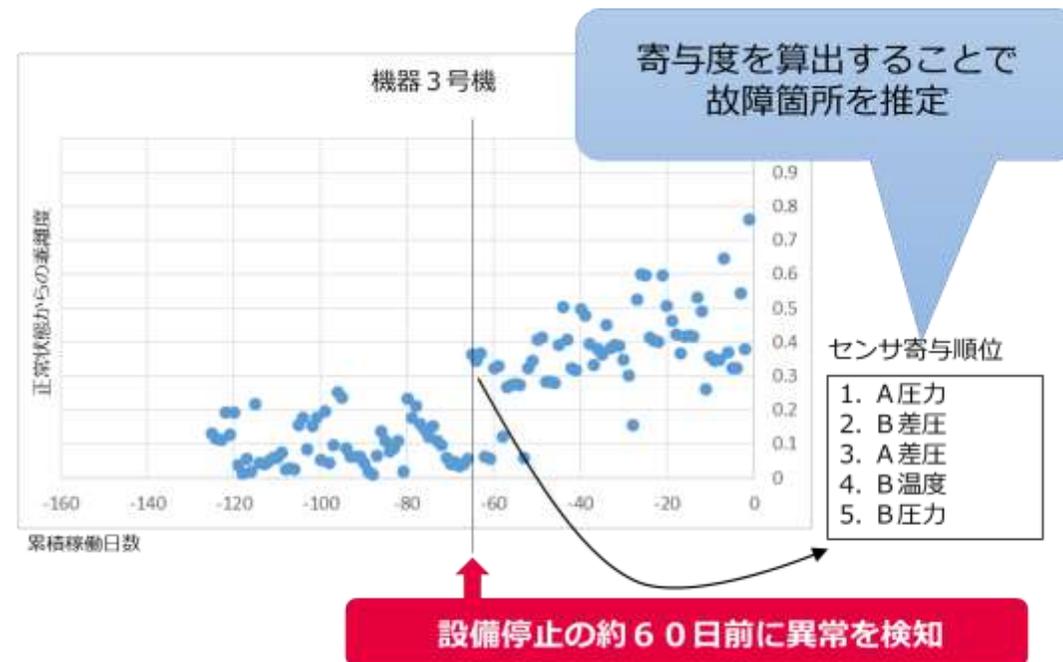
製品改善
価値向上



産業用冷凍庫等製造販売
株式会社前川製作所様



機械学習：Random Forest
センサ数： 40個
サンプリング周期： 15分
学習期間： 正常期間（10日～30日）
予測頻度： 1回／1日



分析対象データ項目（抜粋）

A圧力、B圧力、C圧力、
D圧力、A差圧、B差圧、
A温度、B温度、C温度、
D温度、E温度、
A電流、A回転数、A振動、
C差圧、C摩耗度、C電流

某市浄水場 様

運用実績から水質と薬剤注入量の関係を自動でモデル化し、配水量・取水量・薬剤注入量を予測&ガイド。運用保守業務の効率化・省人化を支援

導入効果

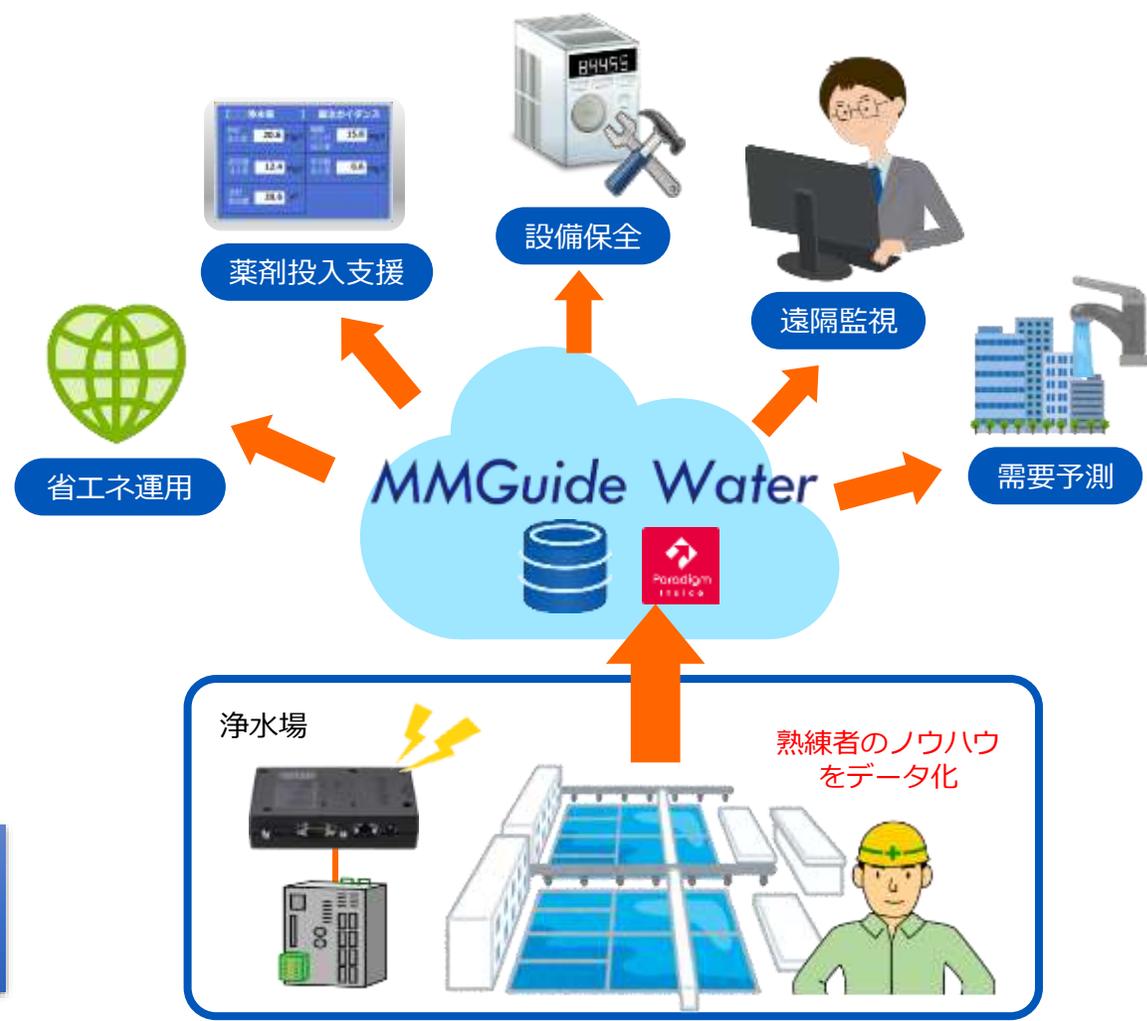
- 過去の運用実績に基づき、浄水場の運用を最適化
- 薬剤の過剰/過小投入を予防
- 熟練者でなくても、浄水場の運用が可能となり、作業の属人化を解消
- 見える化により運用保守業務が効率化

■ 導入メリット

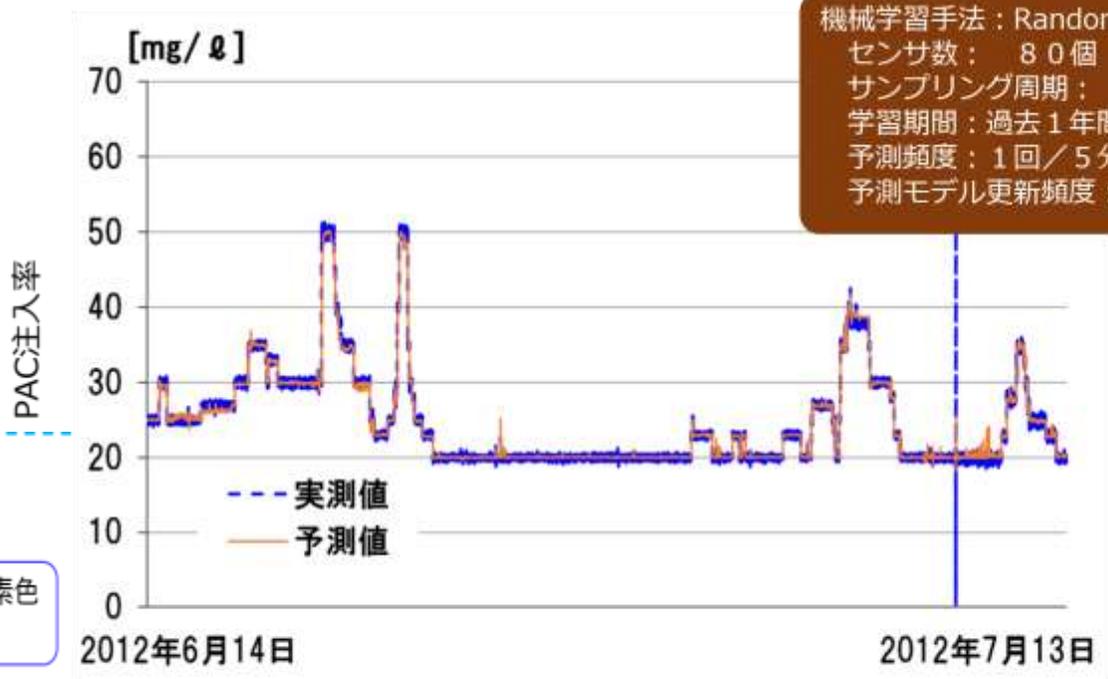
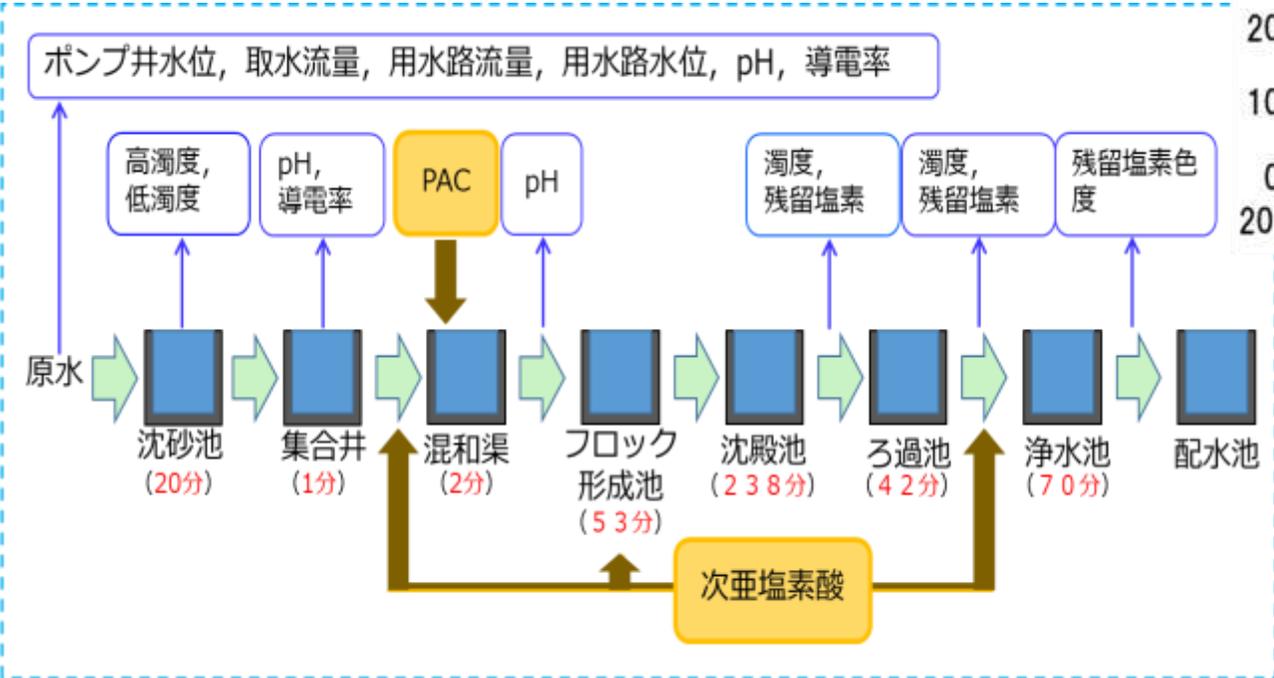
技術継承

属人化
解消

保守業務
効率化



従来：PAC・次亜塩素酸の注入量は熟練者の経験に依存。



機械学習手法：Random Forest
 センサ数：80個
 サンプルング周期：5分
 学習期間：過去1年間
 予測頻度：1回/5分
 予測モデル更新頻度：1回/月

機械学習による予測結果（一カ月分の予測結果）

平均予測精度 = 96%

目視点検業務のAIによる自動化（食品など）

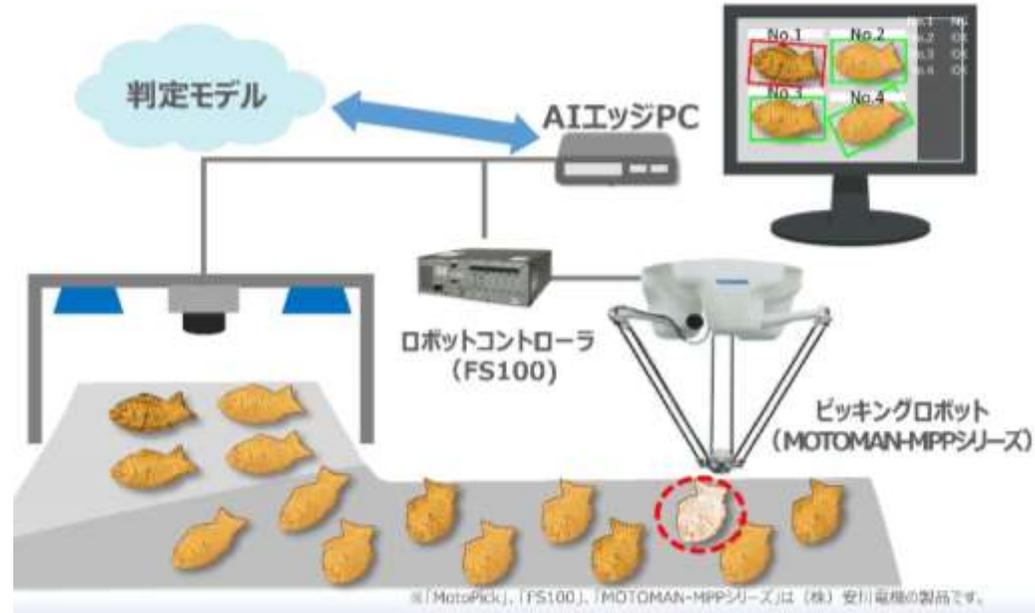
Smart
FACTORY

MMEy

目視確認



ロボットなどと組み合わせることで、不良品除去作業を支援します。
ピッキング作業支援システム「MotoPick」に対応！



省力化

属人化解消

検査品質の向上

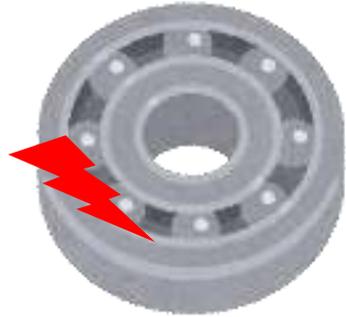
個体差のある対象物の判別

AIが曖昧さを含む人間による判定を機械学習してルール化。人並みの応用度の高い判別が可能。

導入の容易さ

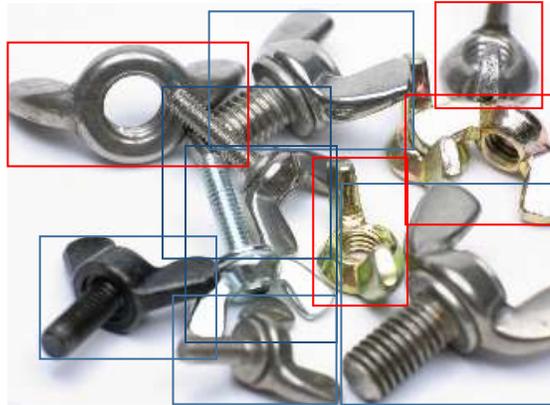
判定基準はAIが機械学習して自動でルール化。高度な画像処理技術の知識を要するパラメータ設定が不要。

異常検知



正常品画像を学習するだけで、高精度な異常検査が可能。

物体検知



登録した対象を画像中から即時に抽出し、領域を算出。

分類



多種多様な対象物が登録されたどこに属するか分類。

特長

- AI（ディープラーニング）画像解析技術により、従来の画像検査装置の適用が難しかった、あいまいな判定に適用できます。
- エッジPCとGPUの利用により**高速な画像認識処理を実現**できます。
- 人の知見の**追加学習機能**を搭載。学習を繰り返すことで検知精度が向上します。

適用事例

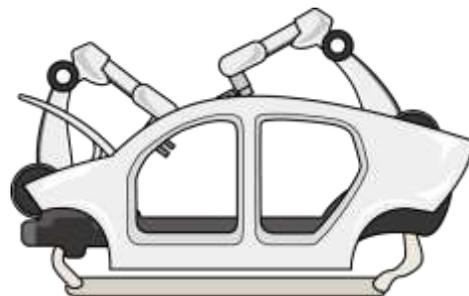
食品製造業

- ・食品の外観検査
- ・食品の異物検査
- ・食品の焼き具合分類
- ・食品の分類と個数カウント
- ・食品（中食・弁当）製造工程における具材チェック
- ・ダンボール梱包ミスの検査



一般製造業

- ・工業部品
(ベアリング、自動車部品、
射出成形品、半導体ウエハなど)
の外観検査
- ・砥石摩耗度の品質検査



その他分野

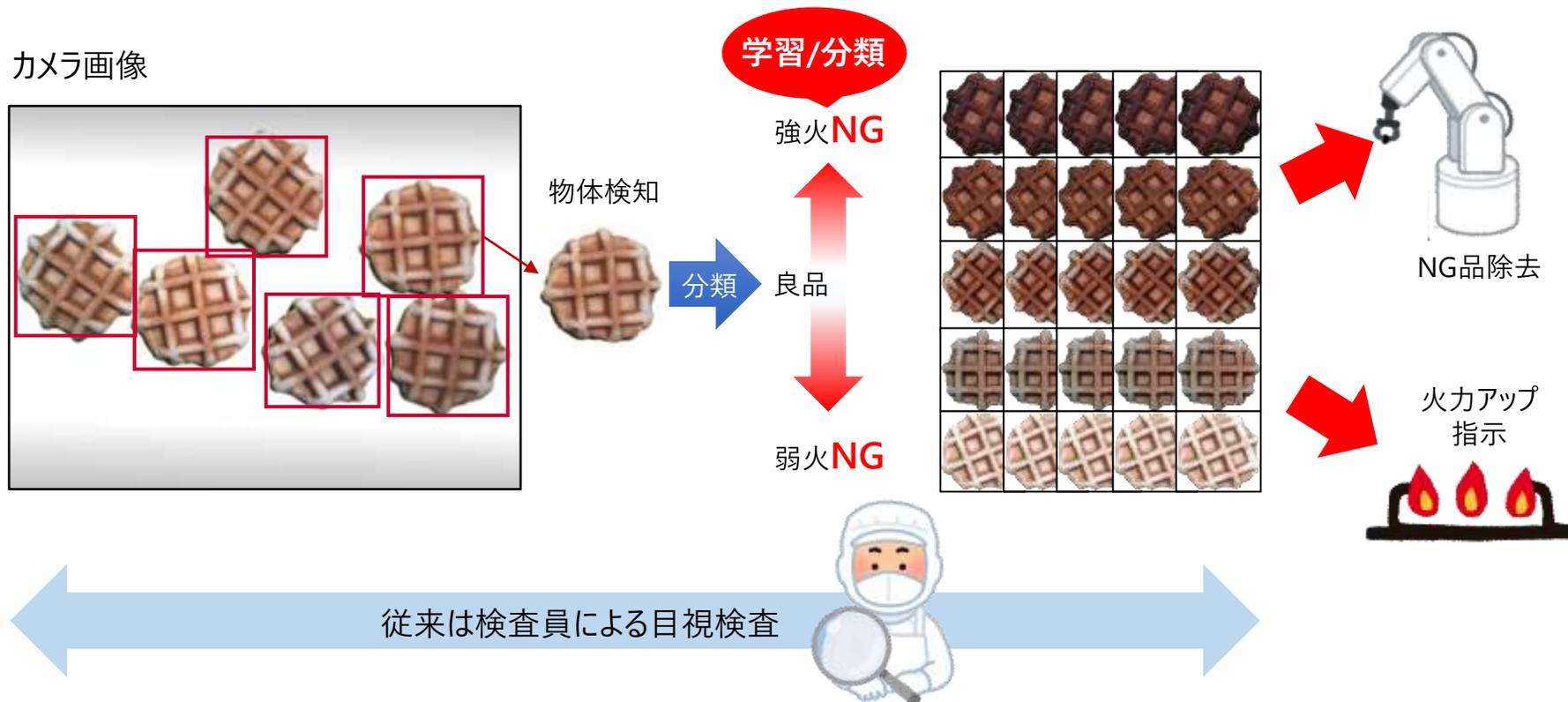
- ・虫の物体検知と分類
- ・野菜の葉の育成異常検知
- ・駐車場の満空判定とナンバー認識
- ・産業廃棄物の分類(グレード判定)
- ・産業廃棄物の物体検知と分類



MMEye 適用事例① 食品の焼き色判別

焼き色の違う画像を**ディープラーニング**で学習/分類し、判別。NG品の抽出や火加減を調整。

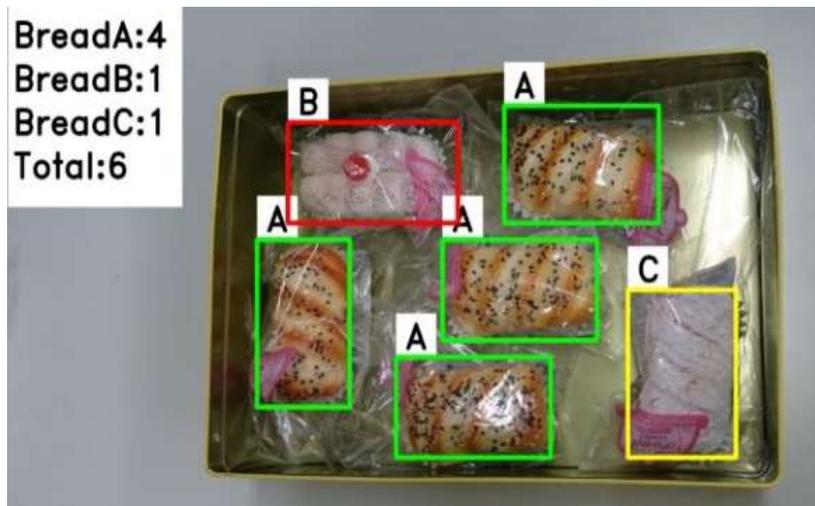
- 食品製造ラインにおいて、対象物の焼き色を分析し、NG品と火加減を判別する。
- 焼き色の違う画像サンプルをディープラーニングで学習し、分類により判別可能とした。
- 1台のカメラで複数の対象物を撮影し、即時に焼き色を判別する。



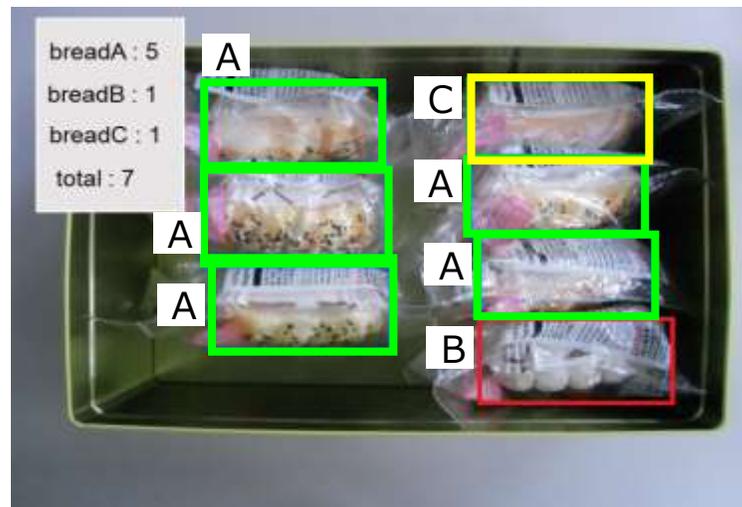
MMEye 適用事例② パン品種判別と個数確認

- 発送する際、ケースごとに伝票に記述されたパンの種別と個数を確認する。
- 適用予定顧客(製パンメーカー)
- パン1種類につき、全面の画像（最低20枚）で種別を分別。

■テスト結果 認識率100%、認識処理時間：1秒以内



3種類のパンA,B,Cの分別と個数を判別。
(パンの正面を撮影)



パンが斜めに箱詰めされた場合でも、
3種類のパンA,B,Cの分別と個数を判別。
(パンの背面や側面を撮影)

・食品の品種判定+個数カウント



・表面の光沢や重なりなどで、
従来の画像判定機器では難しかった計数に



MMEye 適用事例③ お菓子の不良品判別

- お菓子の製造品をカメラで撮影し、良品および不良品の種別を判別する。
- 適用予定顧客(お菓子の製造メーカー)
- 種別だけでなく、欠けの大きさなどの異常度合をさらに細分化して判別。



良品

■最大100クラス（種別×異常度合）に分類



不良品：欠け（小）



不良品：欠け（大）



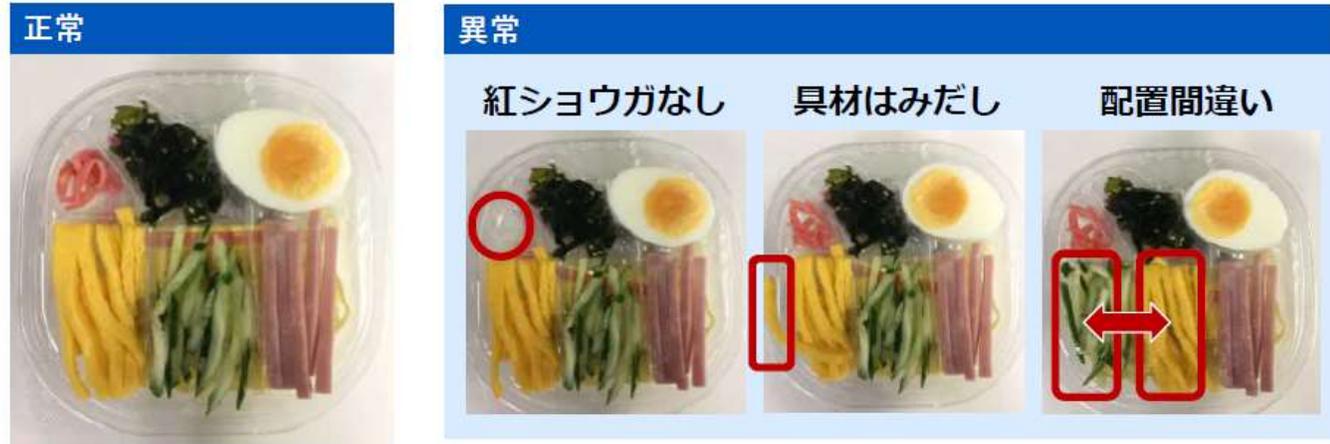
不良品：割れ



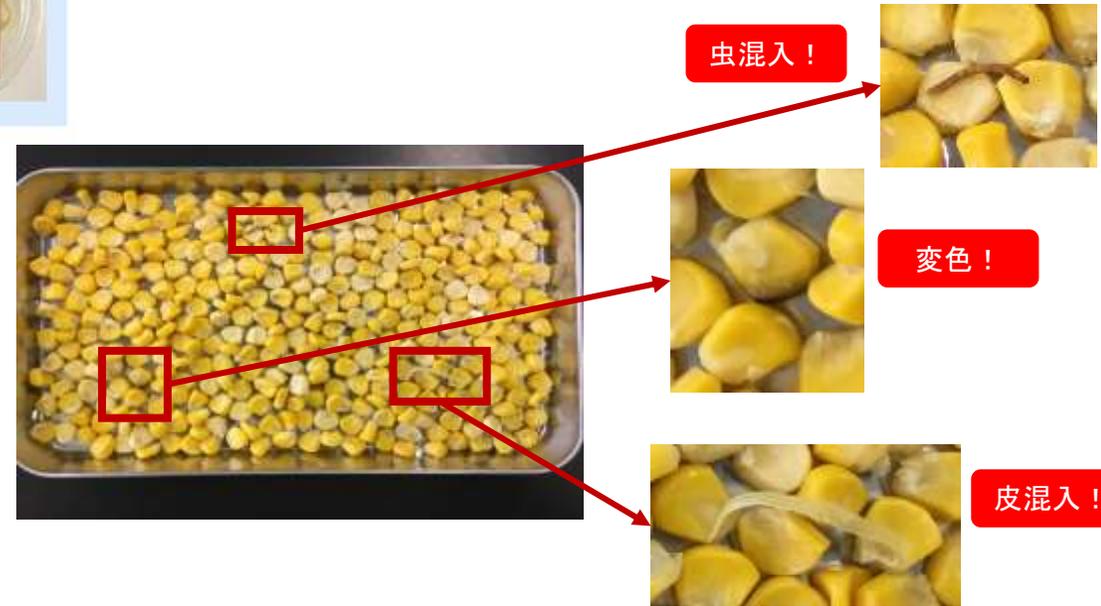
不良品：チョコ剥がれ



■お弁当の具材チェック（冷やし中華）



■X線で検知できない原料の検査



■目視検査で見落としやすい異物の検知

例) ひじき、昆布など

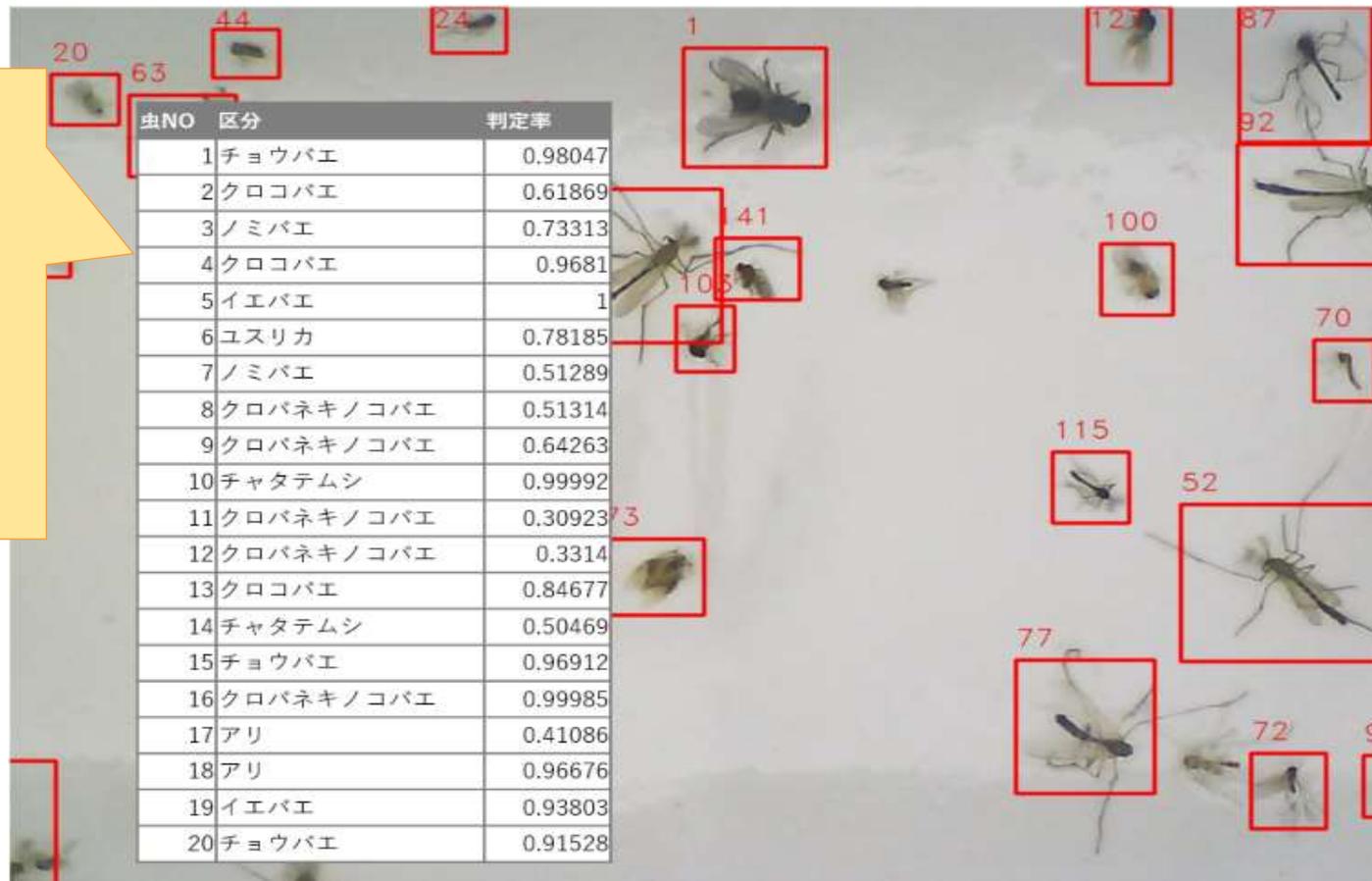


- 捕虫シートに集まった害虫をカメラで撮影し、種類まで自動判別。
- 虫の発生状況を早期に把握し、すばやく対策。

■ 判定イメージ

画像に写った個々の虫について、AIが判定を実施します。判定結果に判定率（判定モデルとの類似度）を添えることで、判定の信頼度も確認できます。

AIに学習させることで、多種の虫を高精度で判定することが可能となります。



■ 導入メリット

属人化
解消

現場ニーズ
の見える化

製品付加
価値向上

目指すは製造ロスの削減・生産ラインの全自動化！

でも
工場として導入するまで
の課題はまだ多いな...



初めての試み、本当にできる？
実績あるパートナーと短期間で実現したい

蓄積できた大事なデータをもっと
活用したい。どうすればよい？

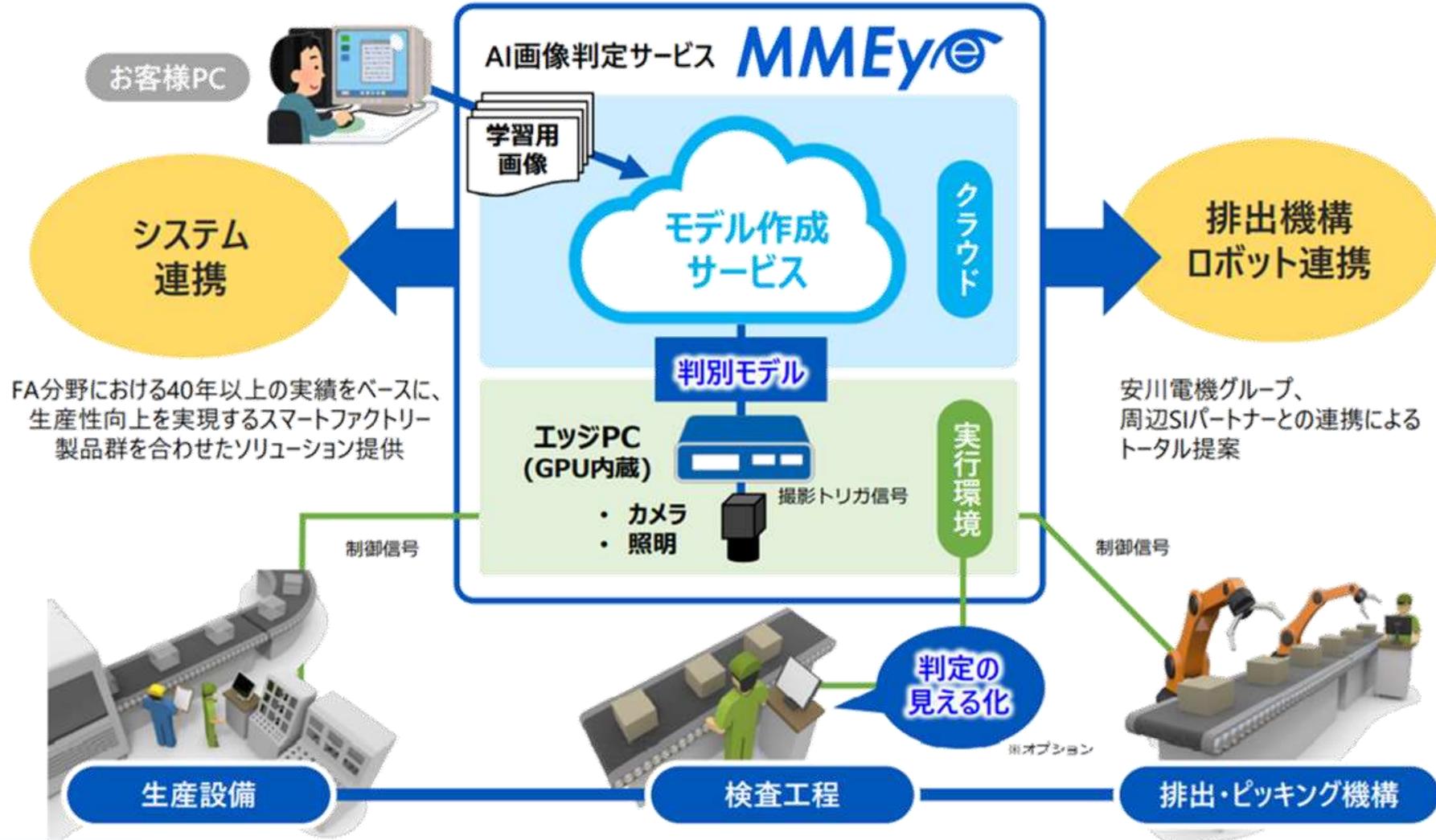
全自動化を実現したい。判定後の不
良品排除など、どう実現できる？

多数の周辺設備との連動が必要、
どう上手く連携できるか？

自動化実現するための、システム
全体の費用対効果を検証したい

さまざまな課題解決が残っていませんか？

YE DIGITALだからこそ実現できる、AIとリアルなラインとの連携



ソーシャルIoTへの展開



LPWA活用によるオフグリッド適用

ビニールハウスの燃料タンク残量監視システム

多彩な標準システムを“そのまま”活用することで、導入コストやリードタイムを削減

Smart
Agri

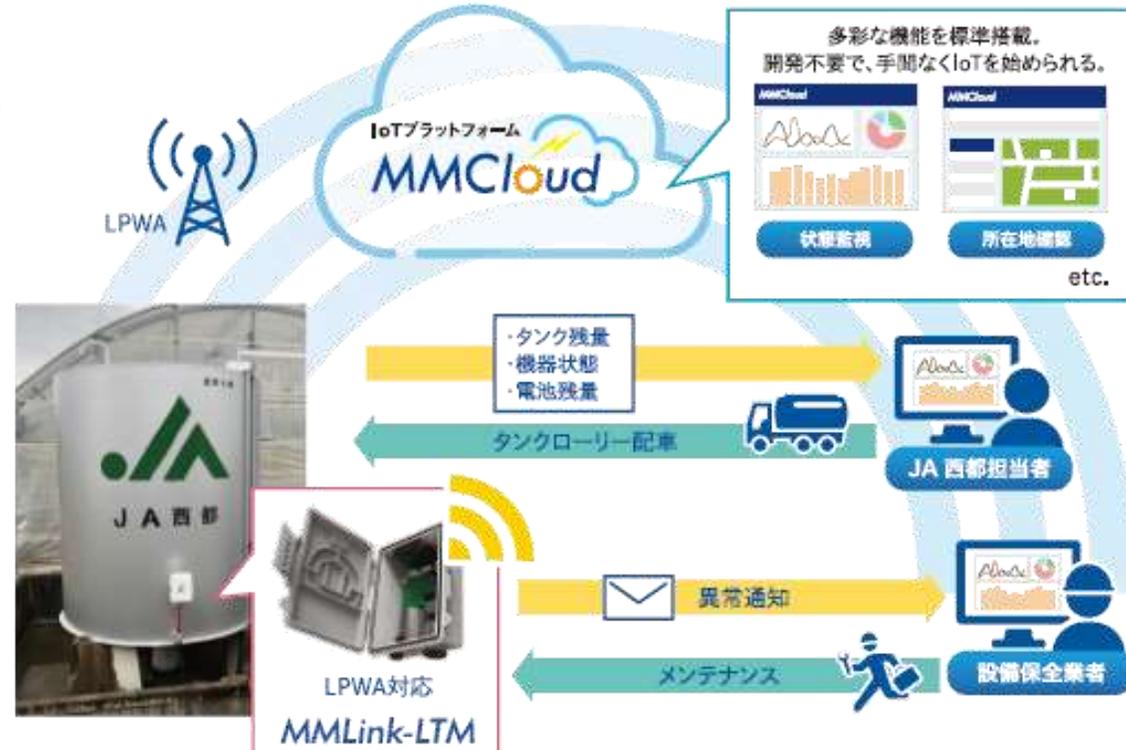
お客様の課題

温度管理が必要なビニールハウスでは、万が一燃料が切れると、ハウスの適切な温度が維持できず、農作物の生育に影響がでるリスクがあるため、生産者が1日1回タンクの残量を確認し、JA様に配送を頼んでいます。そのためJA様は配送ルートを決めることができず、補給体制が非効率となっていました。

導入効果

- タンクの状態が見える化でき、アラート通知も行うため、定期的なタンクの目視確認が不要。
- JA様側で各タンクの残量を把握できるため、配送ルートを計画できるようになり、効率的な人員配置を実現。
- 正確な需要予測により、適正価格で適切な量の燃料購入ができる。

ソリューション



※ 本件は(株)ワイエスシー様との協業により導入を実現いたしました。

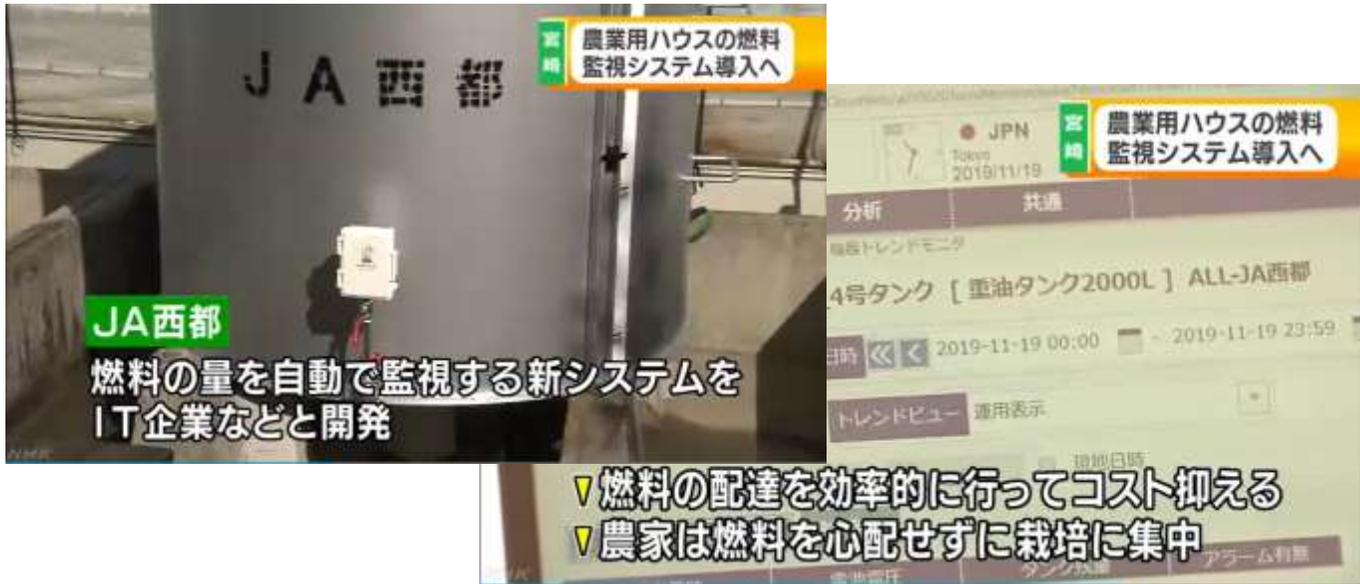
導入効果

一次産業初のLPWA本格導入としてTV、WEB各種メディアでも紹介

枯渇防止
サービス向上

配送効率化
コスト削減

利用者拡大
困り込み



従来比1.5~2倍の作業効率化を実現。
配送車削減、ガソリン使用量の削減も。



燃油残量ネットで確認 配送効率化に手応え システムを導入 宮崎・JA西都

2020年12月16日

| 記事

いいね! ツイート LINEで見る BI 1

12月3日時点で1000基にシステムを導入した。マンゴー、ピーマン、キュウリで利用が進む。



パソコンで残量確認をする担当者 (高崎県高崎市)

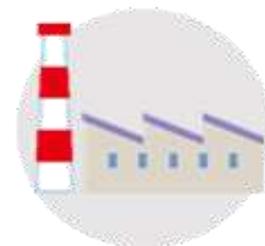
担当者からは「配送にかかる時間は4割程度短縮できたのではないかと」いう声が上が。将来的にはローリー車を6台から4台まで減らしたいという。

燃油の利用が多くない品目への導入は見送るが、来年3月末までに500基を追加する。システムを使うために集約している位置情報や栽培情報の活用も検討中だ。

用途にあったセンサと組み合わせ、幅広い分野に展開

	適用分野（一例）	用途
1	農業燃料タンク	農業、工場向け重油燃料タンクの残量監視、配送効率化
2	自動車整備工場	自動車整備等で利用するエンジンオイル、ギアオイルタンクの残量監視
3	家畜用飼料	畜産農家で保有する飼料タンクの残量監視、配送効率化
4	河川水位監視	自治体様向け河川、ため池の水位観測、防災システム

工場の燃料、ガス残量監視



圧力センサ

畜産飼料の残量監視



超音波センサ

河川水位監視、雨量観測



水位計

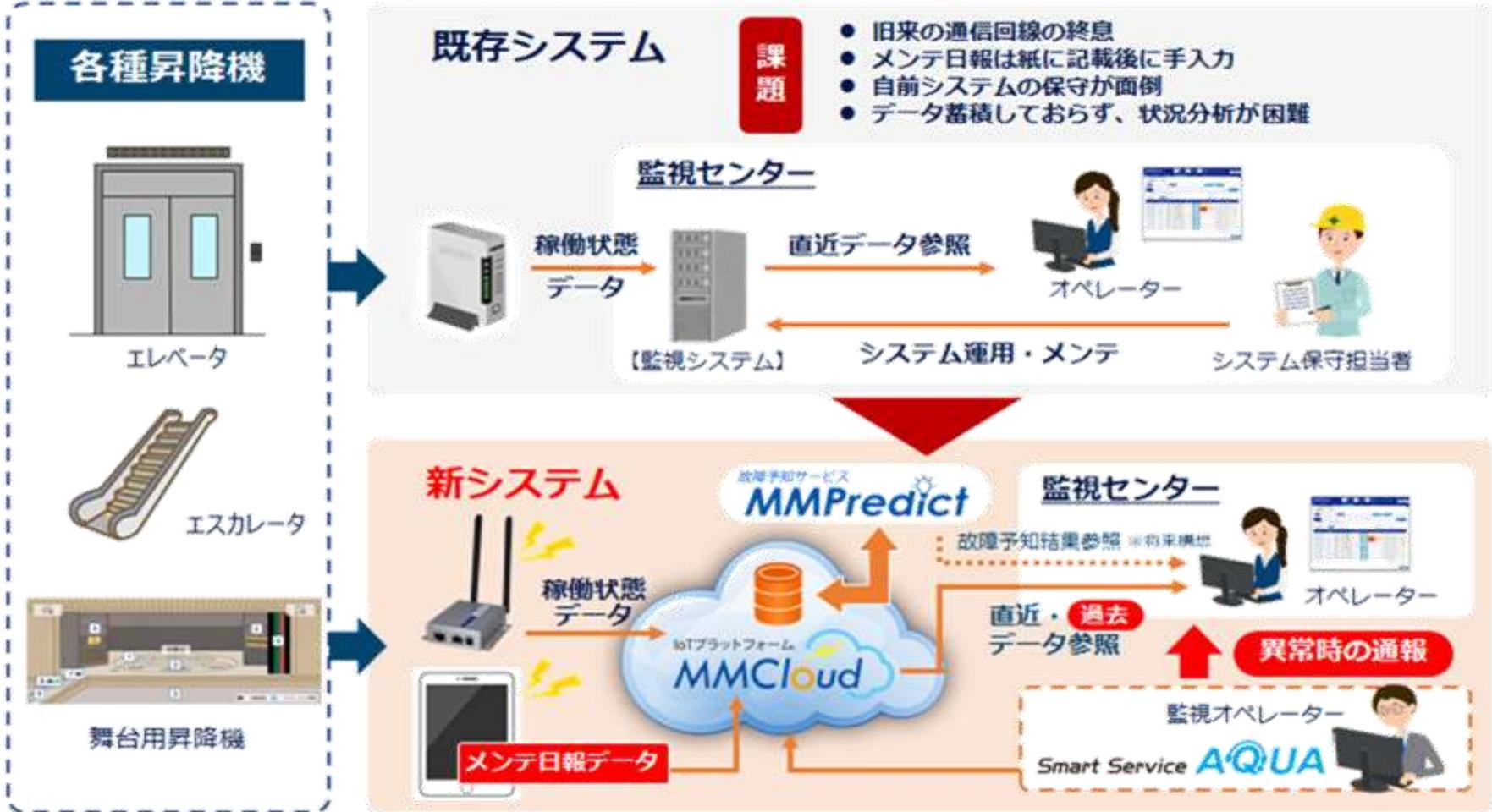


雨量計

**各分野で検証フェーズから本格導入、
全国展開への移行が進行中**

社会インフラ設備の遠隔監視

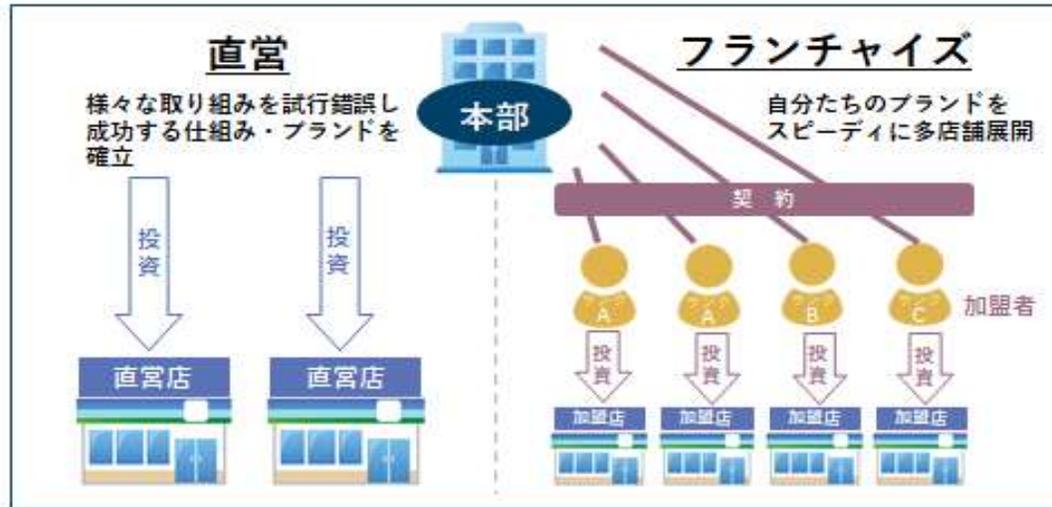
昇降機メーカー兼保守メンテナンスサービス会社様向け遠隔監視



単なる「現状の見える化」から、

分析に基づく、「高効率・高品質な監視」へ

サービス事業者支援、「M2M」から「IoT」へのステップアップ



IoT化の課題

- 多様な機器からデータを吸い上げるノウハウがない
- フランチャイズ展開のスピード感を損なわない
- 関係者が多く、細やかな権限設定が必要

- 様々な装置との接続・データ収集が得意
- 汎用機能ベースで開発費用・期間を低減
- クラウドサービスの権限設定が細やか

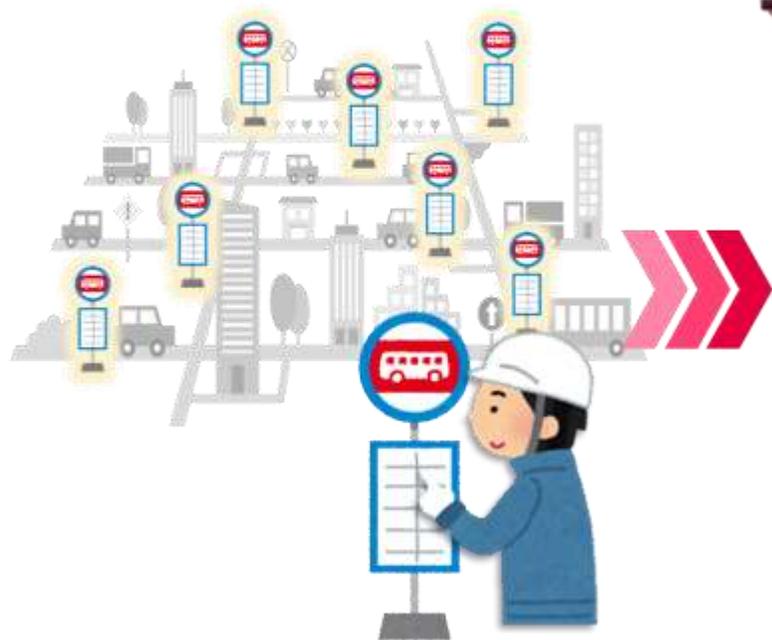
フランチャイズ特有のニーズに対応!



スマートバス停の取組

Smart
CITY

バス停のデジタル化（クラウド化）による価値創出



クラウドで時刻表作成・配信

MMsmartBusStop



時刻表の作成・配信で
運用・管理の手間を削減



時刻表の多言語表示で
インバウンドに対応



非常時には緊急速報表示に
切り替え可能



広告表示でバス事業者の
新たな収入源に

バス停の維持業務って、知っていますか？



系統図

時刻表

お知らせ

【路上業務】

年2回ダイヤ改定、
事業者からのお知らせ
張替え業務

【内勤業務】

専用帳票の
維持管理業務



深夜&早朝の対応
非常に大変な業務です。

スマートバス停という新たなプラットフォーム

◆街中のバス停がIoTプラットフォームに変身！



スマートバス停事業展開

全国各地へ拡大中。

導入済地域
(福岡県、岩手県、石川県、埼玉県、青森県、etc)

「withコロナ時代」を迎え、従来より機動的ダイヤ編成や迅速なお知らせ
掲示が交通事業者に求められています。

市場ニーズあわせ、新製品Type-C、Type-Dを今年度投入予定。

スマートバス停ラインアップ				
	Type-A (繁華街)	Type-B (市街地)	Type-C (郊外)	Type-D (過疎地)
				
電源	商用電源		太陽光	乾電池
液晶	透過型LCD		反射型LCD	電子ペーパー
表示域	55inch	31.5inch		13.3inch

Focus

**バス事業者が求めていたのは
オフグリッドに対応したバス停でした！**

バス停張替え業務の軽減（働き方改革）につなげるには、バス停の約80%を占める、電源のない環境のバス停もスマート化し、すべてのバス停をカバーしなければ
意味がありません。今までスマート化のボトルネックであったオフグリッド環境に
対応した機種を開発できたことで、スマートバス停導入が加速しようとしています。

スマートバス停導入の交通事業者様

**Nishitetsu
Group**

岩手県交通株式会社

北陸鉄道株式会社

国際興業バス

十和田観光電鉄株式会社
TORWADA KANKO DENTETSU

**ご利用中の
交通事業者様が
続々と増えています**

オープンイノベーションの取組

戦略(1)異業種コラボレーション

オープンイノベーション手法を用いることで、様々な企業様との異業種コラボを実現、スマートバス停の導入維持コスト低減と、同時に新たな事業収益を獲得していく。



伊藤園様



セブンイレブン様



スピナ様



AiCT様、三井物産様

戦略(2)地方自治体との連携

スマートバス停の特徴（文字が大きく見やすい、災害情報などの掲示等）を生かし、地方自治体からの後押し（条例変更、導入助成金等）を頂くことで、公共交通機関の発展を実現していく。



18

オープンイノベーション プラットフォーム

Coworking Space

SAKAÏSSO!

サカッソ!





当社は2020年7月、

- ・北九州市
 - ・九州工業大学 と
- 産学官連携の人材育成に関する連携協定を締結しました。

3者が相互の強みを活かしながら、以下に取り組みます。

- ・北九州市におけるオープンイノベーション人材育成
- ・地域産業の活性化
- ・地域課題の解決

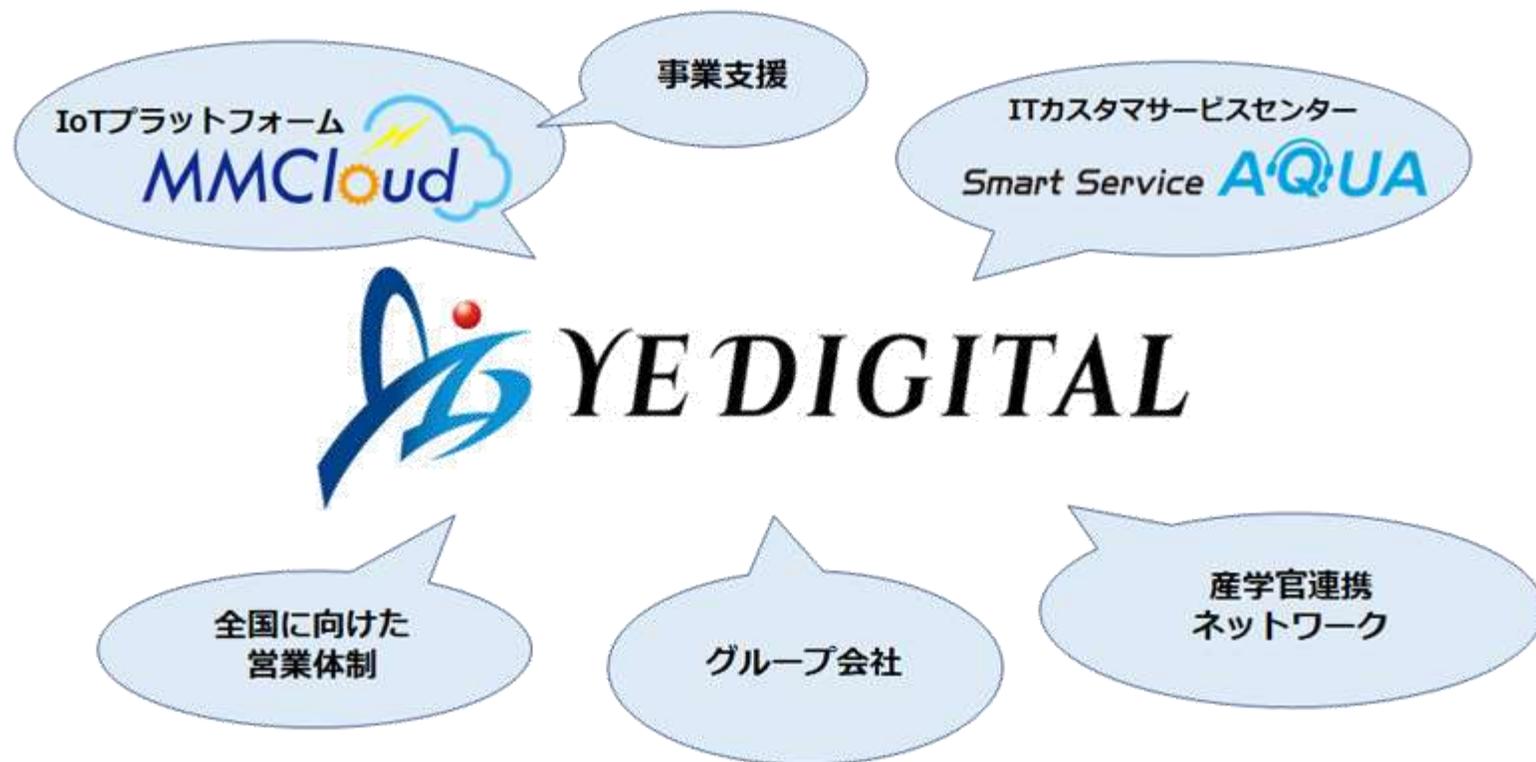


「SAKASSO！」とは「咲かそう！」という意味。

「スタートアップに優しい街」北九州市において、
以下を目指して取り組みを進めています。

- イノベーション創出を目指すスタートアップのみなさんと繋がることで、みなさんのPRの場を提供し、市場への橋渡しを行う
- 当社ソリューション企画の幅を広げていくことを目指しています。

当社の保有するリソースを活用し、ご支援をいたします。



- コワークスペース「SAKASSO！」の利用



- イノベーションPRポータルへの掲載



自社、あるいは自社が投資する会社について

- ・より多くの人に知ってもらう
- ・市場との橋渡し
- ・YDCとの協業可能性

北九州市

- ・「スタートアップに優しい街」
「北九州発ソリューション」で
ブランドカアップ
- ・地域活性化

スタートアップ
九工大
VC等

YE
DIGITAL

- ・新たな取り組みの発信基地
としてのブランドカアップ
- ・ソーシャルIoTに向けた
新たなパートナーの発掘
- ・市との協業強化で支援獲得

1月25日より、本社ショールームにおいて九州工業大学が研究をすすめるトマト収穫ロボットを展示します。最新の技術や取り組みを一般の方が目にする機会を作ることで、特に子供たちが工学・情報技術に興味関心を持つ、次世代の技術者が育つ土壌づくりに貢献したいと考えています。

ショールームでの展示は、トマト収穫ロボット実機展示をはじめ、収穫ハンド部分などの今までの開発の変遷を動画やパネルを用いわかりやすく紹介しており、今後約半年間展示される予定です。



YASKAWA

安川情報システム株式会社



 **YE DIGITAL**

これからもYE DIGITALを
よろしくお願い申し上げます

